

春來地区公民館だより

春來



10月

令和8年9月20日

第100号

(文責 田中篤幸)



夏が終わり秋へと



第30号です。歴代公民館長の皆様のおかげで、通算でついに100号を迎えました。皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

7月27日(月)～28日(火)に春來地区公民館で開催された「スマホ相談会」の様子を紹介します。参加された皆さんは、積極的に質問をしていました



ほっこり庵 学習室「8/10」



この日、ほっこり庵(新温泉町社会福祉協議会)の場所を確認することができました。参加者は集中して作品づくりに取り組んでいました

いきいきサロン「6/16 7/21」



多くの笑いの中、参加者の皆さんは笑顔で交流していました。写真は新聞ボールを作り、転がして高得点をめざすゲームです。

出口 龍憲 氏 を学ぶ(3)



Q プロの画家なのですか

A アマチュアです。本業は果樹園の肥料商でした。

Q どれくらいの数の作品があるのですか。

A 昭和63年の神戸新聞のインタビュー記事にはこう書かれていました。「1年に80枚。現在までに二千枚は描いているでしょう。」

※この公民館には40点所蔵しています。

企画展、今後の予定など

★今後の予定★

R 8 年

- 8～9月 切手アート展と「木の枝工作」小学生作品展（開催中）
- 10～11月 着物のリメイク展
なっちゃんのリメイクの会（予定）
- 12月～R 9年3月（休館）

R 9 年以降の計画等

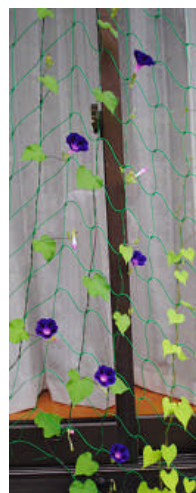
- ※阪本善行 氏 但馬の先人（計画中）
- ※田中初子 氏 絵手紙展（計画中） ※小谷 定 氏 絵画作品展（計画中）
- ※松崎直樹 氏 子どもの作品展（ポスター、デザイン）（計画中）
- ※福井哲也 氏（香住の先輩）鉄道写真展（計画中） ※森 直子 氏 作品展（計画中）

「第4回木の枝工作教室より」7月26日（日）



参加者の皆さんが黙々と制作に集中している様子が伝わります。2時間があったという間に過ぎていきました

春來の自然 「アサガオの成長2」



前号に引き続き、アサガオについて、その成長の様子を紹介していきます。

まるで、夏休みの宿題に取り組んでいるようでおかしくもあります。

ちゃんと世話をしていくと、生き物はそれにきちんと答えてくれます。それが嬉しくもあり、やりがいをかんじるものです。植物はそれが顕著ですね。

左の写真は、種をまいてから約3週間後の様子です。「朝顔」というように朝には綺麗な花を咲かせてくれます。毎朝が楽しみです。

あっちゃんの夏休み「植物の成長」

小学校の理科の時間に「植物の成長」について学んだこと思い出しました。「成長」は「生長」と書く場合もあります。

成長に必要な条件は光、水、空気、温度、養分です。それぞれについて調べてみました。

- （1）光（太陽）・・・葉でエネルギー（栄養）を作るために必要です。
- （2）水・・・体に行き渡らせて、大きく膨らむために必要です。
- （3）空気・・・呼吸や栄養作りに必要です。
- （4）温度・・・ちょうどよい暖かさがあると動きが活発になります。
- （5）養分・・・土の中の肥料（窒素・リン酸・カリなど）を吸い上げます。



（1）は、光合成のことですね。光合成とは植物が太陽の光エネルギーを使って、二酸化炭素と水から自分の栄養（糖やデンプン）をつくり、酸素を外に出す働きのことです。

この光合成の読み方ですが、「こうごうせい」なのか「ひかりごうせい」なのか、小学生時代、友だちと言い合いをした記憶が蘇りました。

光合成はなぜ大切なのでしょう。

植物は自分で生きるための栄養を自分で作ることができるのです。その時に出る酸素を人間や動物が吸って生きているため、地球上のすべての生き物にとってなくてはならない大切な働きと言えるのです。

もし、植物がいなくなったら・・・そんなことは考えたくもありません。

